



2025年

8月

中国四国農政局
広島県拠点

News Letter

シーズン到来!! 三原市大和町の桃

三原市北部の標高約400メートルに位置する大和町では、昼夜の寒暖差が大きいため、桃の栽培に適しており、収穫される「桃」は糖度が高く実の締まりが良くおいしいと人気です。

収穫・出荷のシーズンに入った大和町の「桃」について、JAひろしま大和アグリセンターの吉川寛人営農指導員、大和町桃生産出荷組合の部谷（ひや）裕幸組合長、組合員の佃さんから出来具合についてお話を伺いました。



選果前の桃（品種：みさか）

「大和町桃生産出荷組合について」

昭和50年頃、約8農家で設立した組合は、国の減反政策に伴い米以外の農作物として、桃の栽培を始めました。

現在の組合員は、3農家となりましたが「あかつき」「白鳳」など約30種類の品種を、約4ヘクタールの面積で栽培し、市場、道の駅、産直市、ネットでの販売を行っています。



選果中の吉川指導員

「今年の桃の生育等について」

生育は、2～3月の寒波で着花が例年より1週間程度遅れ、その影響で収穫も同様に遅くなっています。

また、梅雨が短く雨が少なかったため、小玉傾向ですが、晴天に恵まれ糖度は高くなっています。

7月16日から始まった出荷は、盆前をピークに盆過ぎまで続く予定です。



部谷組合長、吉川指導員、佃さん

「生産現場の現状について」

生産現場の現状や課題は、鳥獣の被害が多く、電柵等で対処しても、一晩で多い時は約200個の被害を受けることもあり、いや地現象（作物の連作障害）の発生により、順調に収穫できていた樹木が突然枯れる被害が発生することがあります。いや地現象については、県の行政機関に相談・指導を受けています。

人手不足は、各農家で県外や地域の方を10名程度アルバイトで雇用することで解消し、その結果地域雇用や人の流入による地域活性が図られています。



生育途中の桃

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306)

<農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>